

令和6年度富山県立大学研究協力会総会・設立20周年記念式典開催

令和6年5月17日(金)、ボルファートとやまにおいて、令和6年度富山県立大学研究協力会総会を開催いたしました。併せて、今年4月に富山県立大学研究協力会が設立20周年の節目を迎えたことから記念式典を執行了しました。

総会では、令和5年度事業報告及び収支決算、令和6年度事業計画及び収支予算が審議、承認されたほか、役員の改選が行われ、谷川正人研究協力会会長(コーセル株式会社相談役)が総会をもって退任となり、新たに高木章裕副会長(株式会社タカギセイコー代表取締役社長)が会長に就任しました。また、新副会長へは、田中英一郎理事(田中精密工業株式会社代表取締役社長執行役員)が就任しました。

記念式典では、前号(Techno Times 設立20周年記念特別号)に掲載したとおり、長年産学連携活動へご尽力された方々に対して、研究協力会から表彰を、富山県立大学から感謝状を贈呈いたしました。

例年より多くの151名の方にご出席いただき、研究協力会の設立20周年を盛大に祝うことができました。

高木新会長挨拶
(記念式典)



感謝状贈呈(山本理事長
から谷川前会長へ)



総会会場

さらなる発展のために

富山県立大学研究協力会は、発足から20年を迎えました。

また、会員数は約230社を数え、大学が支援する組織としては北陸最大級です。

協力会では、産学連携コーディネート活動やテーマ別研究会に対する活動、地域連携センター活動に対する支援を行うとともに、県立大学教員等との交流・連携、電子メール等を利用した情報発信を行っています。

本協力会のさらなる発展のためには、会員並びに関係機関の皆様の積極的なご参加・ご協力が不可欠です。今後とも引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

Contents

- ◆令和6年度富山県立大学研究協力会総会・
設立20周年記念式典開催……………P1～2
- ◆令和6年度研究協力会奨励研究採択結果……………P3
- ◆共同研究事例紹介……………P4

- ◆会員紹介……………P5
- ◆シーズ紹介……………P6～7
- ◆大学からのお知らせ……………P8

総会議事

- ・令和5年度事業報告及び収支決算(案)について
- ・令和6年度事業計画及び収支予算(案)について
- ・役員を選任(案)について

総会報告事項

- ・令和6・7年度リエゾンサポーターリーダーについて

役員一覧については、下記のとおりです。

【令和6年度 富山県立大学研究協力会役員】

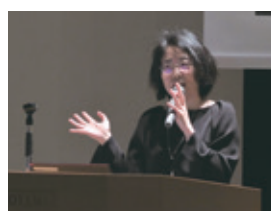
役 職	氏 名	所 属	役 職
会 長	高木 章裕	株式会社タカギセイコー	代表取締役社長
副会長	田中英一郎	田中精密工業株式会社	代表取締役 社長執行役員
副会長	多田 守男	北陸電気工業株式会社	代表取締役社長
副会長	中井 環	リードケミカル株式会社	代表取締役社長
理 事	石崎 大善	株式会社アイザック	代表取締役社長
理 事	高橋 秀彰	アイシン軽金属株式会社	執行幹部
理 事	谷口庄一郎	株式会社インテック	常務執行役員
理 事	大橋 聡司	大高建設株式会社	代表取締役社長
理 事	三吉 勇人	協和ファーマケミカル株式会社	代表取締役社長
理 事	谷川 正人	コーセル株式会社	取締役 会長
理 事	杉野 岳	株式会社スギノマシン	代表取締役副社長
理 事	水口 勝史	立山科学株式会社	代表取締役社長
理 事	津根 良孝	津根精機株式会社	代表取締役会長
理 事	中井 淳	東亜薬品株式会社	代表取締役社長
理 事	村上美也子	公益社団法人富山県医師会	会長
理 事	稲村 睦子	公益社団法人富山県看護協会	会長
理 事	米田 篤史	株式会社ニッポンジーン	代表取締役社長
理 事	吉田 直純	株式会社不二越	取締役 技術開発本部長
理 事	清都 太郎	富士フイルム富山化学株式会社	取締役執行役員 富山第二工場長 兼 富山研究開発センター長
理 事	多賀 淳二	北電情報システムサービス株式会社	代表取締役社長
理 事	福村 章	北陸電力株式会社	常務執行役員 原子力本部長
理 事	小林 聖子	YKK株式会社黒部事業所	副社長 黒部事業所長
監 事	片岡 幹夫	射水商工会議所	専務理事
監 事	水上 優	富山県経営管理部	学術振興課長

※企業名五十音順

(令和6年5月17日総会開催時点)

講演会

総会後は、富山県立大学より2名の教員が講演を行いました。中澤暦講師(工学部環境・社会基盤工学科)が『南極地域観測隊に参加して見た、昭和基地と南極の自然』と題して、安田佳織准教授(工学部医薬品工学科)が『ビタミンDと健康-疾病の予防・診断・治療に向けた新規技術の開発-』と題して講演しました。



中澤講師講演



安田准教授講演

交流会



交流会会場



蔵堀副知事ご挨拶

蔵堀祐一富山県副知事の乾杯のご挨拶とともに、交流会がスタートしました。多くの会員企業・団体、行政、金融機関等のみなさま、また受賞者の方々にもご出席いただき、県立大学教員と交流を楽しむ様子が見られました。

令和6年度 研究協力会奨励研究が採択されました!

令和6年7月18日(木)、第1回リエゾンサポーターリーダー会議を県立大学射水キャンパスで開催し、全5分野の審査を行いました。リエゾンサポーターリーダーによる審査の結果、令和6年度研究協力会奨励研究が11件採択されました。採択結果は以下のとおりです。また、これらの研究成果発表は、来年度のリエゾンサポーター交流会で行う予定です。

バイオ・ライフサイエンス分野

- ◆抗生物質耐性化因子 TlrB の作用機序の解明
～創薬開発に向けて～ (生物工学科/講師 高田 啓)
- ◆トウモロコシ芯由来キシランによる腸内細菌叢の
調節と疾患予防 (医薬品工学科/准教授 古澤 之裕)
- ◆アトピー性皮膚炎治療薬シーズ創出を目指した
IL-31 結合抗体代替タンパク質の開発
(生物工学科/講師 牧野 祥嗣)
- ◆ダニ寄生に伴うミツバチ大量死を抑制する新規薬剤
の開発 (生物工学科/講師 鎌倉 昌樹)

情報通信分野

- ◆メタメリズムを用いた不可視かつ汎用リーダーで
判読可能な QR コード生成表示法の開発
(情報システム工学科/助教 西澤 昌宏)
- ◆トランスフォーマーを使ったゲノムモデル構築と
その応用 (生物工学科/助教 杉本 竜太)

環境・エネルギー分野

- ◆量子効果が発現する有機ナノ結晶を用いた塗布型
有機 EL 素子の開発
(知能ロボット工学科/准教授 水野 斎)
- ◆富山県の河川水系における有機フッ素化合物の分布
調査 (環境・社会基盤工学科/教授 黒田 啓介)

ナノテクノロジー・材料分野

- ◆液体をゲート絶縁体に用いた電界効果型トランジス
タの開発と評価 (電気電子工学科/准教授 清水 直)

ものづくり分野

- ◆もみ殻からファインセラミックス・シリコンカーバイド
(3C-SiC) を合成するための追加炭素源の探索
(環境・社会基盤工学科/准教授 立田 真文)
- ◆手技における「力・感覚」評価システムの開発
(知能ロボット工学科/講師 松本 賢太)

ダ・ヴィンチ祭 2024

子どもたちの科学への興味や関心を高めるため、平成8年より開催している「ダ・ヴィンチ祭」を8月3日(土)に開催いたしました。今年度は昨年度同様、入場制限なしでの開催となり、約1,900名の皆様にご来場いただきました。当日はこども科学製作教室やおもしろ科学実験の実演など、43企画を実施し、科学の魅力を体感していただきました。

参加した子どもたちからは「たくさん学べて楽しかった」「科学に興味をもった」「また来年も参加したい」など、嬉しい声も聞かれました。

今後も「ダ・ヴィンチ祭」は、地域の子どもたちが何度訪れても新しい発見ができるイベントを目指します。



色が変わるおんじを
作ってみよう!



センサを利用したeスポーツ
「大富豪になろう!」



すぐできる!
お手軽カップモーター



とっても冷たい世界の材料の
不思議を体験しよう!

共同研究
事例紹介

HANSHIN GROUP

工学部 機械システム工学科
寺島 修 准教授

機械情報活用によるものづくり現場での生産効率の向上

● 共同研究の目的・内容

近年、IoT 活用やデジタルトランスフォーメーション（DX）により、製造現場での生産設備の稼働情報が広く取得されるようになりました。例えば、アルミ製品の製造現場では、アルミ溶鉱炉の電力使用量や二酸化炭素排出量をモニタリングすることで、省エネルギーな生産やカーボンフットプリントの記録が可能となっています。一方で、生産性向上のためにデータを活用する取り組みも進んでいます。我々は、生産設備から取得したデータを分析し、生産効率低下の原因を特定し、それを改善することで生産効率を向上させることを目指しました。

今回の取り組みでは、阪神化成工業株式会社が所有する樹脂成形機械を対象に、機械データの取得と生産効率低下要因の抽出、およびその改善に取り組みました。樹脂成形では未だ完璧な成形は難しく、成形不良が発生することがあります。成形不良品は再利用されますが、不良の発生自体を減らすことが望まれます。そこで我々は、生産時の多くの機械データを収集し、成形不良の発生との関連性を調べました。多変量解析手法を用いて、成形不良



ダイレクトブロー成形機

発生時の機械データの変動モードを特定し、不良の発生に寄与する原因を明らかにしました。

数か月間のデータ取得と分析の結果、機械のある部位の制御精度が低下すると、成形不良が生じる可能性があることが判明しました。このため、成形機メーカーとも協力して制御精度の改善に取り組んだ結果、制御精度が向上し、成形不良の発生率も低下しました。このように、データを活用した生産上の課題解決を行うことで、より高い生産効率を実現できると考えています。



成形部の拡大

● 今後の展望

富山のような地方都市では、人口減少、特に労働人口の減少を克服し、持続可能な地域社会を実現するための取り組みが進められています。その一環として、富山でも近年ではIoT 活用や DX が広く進められています。さらにその効果を高め、実効性のあるものにするために、より有効なデータ活用を図り、生産活動の改善や向上を目指しています。生産・稼働中の機械から得られる情報を基に、機械を最適に稼働させることで、データ駆動型の効率的な生産活動の実現を目指します。

共同研究者の
コメント阪神グループの
石金 満 です！

当社では他の素材に替え難い医薬品のプラスチック容器を生産しており、カーボンニュートラル実現が求められている中、成形不良を削減することで貢献したいと考えています。

今回の共同研究では、これまでの固定概念から注目していなかった機械データに着目し分析された結果から成形不良との関連性が判明し、制御精度の重要さに改めて気付かされました。

引き続き、ご指導いただきながら機械データを有効に活かし生産性向上に取り組んで参ります。

本学教員の
コメント

私が寺島です！



IoT 活用や DX が広く知られるようになり、普及も広がっています。このような IoT 活用や DX により、多くの情報が得られ、便利になった一方、生産・製造上の課題を直接的に解決するための IoT 活用や DX はまだまだできていないと考えています。IoT 活用や DX をさらに有益、有効なものにするためにも、データを最大限に活用し、明日の生産・製造の改善につなげるための研究を進めてまいりますので、引き続きご支援、ご協力を賜れば幸いです。

会員紹介



Atfields

本社・魚津地区 〒937-8585 富山県魚津市東山 800 番地
(ヌヴォンテクノロジージャパン株式会社 北陸製造グループ内)
TEL 0765-22-3138
FAX 0765-22-5149
長岡京地区 〒617-8520 京都府長岡京市神足焼町 1 番地
(ヌヴォンテクノロジージャパン株式会社 北陸製造グループ内)
砺波地区 〒939-1312 富山県砺波市東開発 271 番地
(ヌヴォンテクノロジージャパン株式会社 北陸製造グループ内)
新井地区 〒944-8555 新潟県妙高市栗原 4 丁目 5 番 1 号
(ヌヴォンテクノロジージャパン株式会社 北陸製造グループ内)
URL <https://atfields.com/>
設立 2000 年 3 月 1 日
事業内容 製造技術分野における工法開発・改善および生産システム等のエンジニアリングサービス

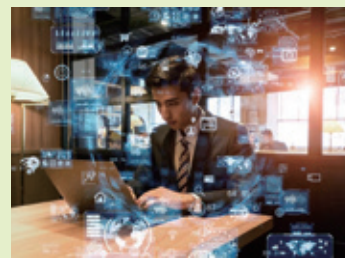
人とデジタル技術の融合で未来を創造する インテグレートドソリューションカンパニー

アットフィールズテクノロジー株式会社は、半導体を中心としたモノづくりの現場で、新製品の開発や量産改善に必要な製造条件の確立やシステムの開発を行う技術者集団です。社名「アットフィールズ (Atfields)」には、「現場に根付いたお客様への貢献」という想いが込められています。



当社のミッションは「お客様とともにものづくり革新を通じ、社会に貢献すること」です。また、「人とデジタル技術の融合で未来を創造するインテグレートドソリューションカンパニー」を目指しています。現場・現

場で事象を直視し、原理・原則に基づき、統計的手法などを活用して課題解決に向けた改善策の提案から対策・フォローまで一貫したサポートを行っています。システム環境構築や運用だけでなく、工場のスマート化をフルサポートするエンジニアリングサービスを提供し、データ解析による課題抽出や工法開発・改善まで支援することで、お客様の工場の「モノづくり革新」を実現します。当社は、このような取り組みを通じて、社会に貢献しています。



DEC ダイヤモンドエンジニアリング株式会社

本社 〒937-0067 富山県魚津市釈迦堂 1-7-22
TEL 0765-24-5670 FAX 0765-23-9210
本新事務所 〒937-0068 富山県魚津市本新 751
TEL 0765-24-1881 FAX 0765-24-4815
分析事業所 〒936-0802 富山県滑川市大掛 176
TEL 0765-24-3521 FAX 076-471-7544
URL <https://www.diamond-eng.co.jp/>
設立 1969 年 7 月 3 日
創立 1969 年 9 月 1 日
事業内容 各種産業プラントの計画、設計、施行、試運転といったプラントエンジニアリング事業
プラント設備機器の建設、保全事業
各種分析事業

豊富な経験と優れた技術で、 未来を作るエンジニアリング

ダイヤモンドエンジニアリング株式会社は（略称：DEC）は、昭和44年日本カーバイド工業株式会社の設計工務部門を中核として、独自の技術・各種の特許・ノウハウ・諸設備・スタッフ等をそのまま継承し、分離独立した総合エンジニアリング会社です。各種産業用プラントの企画・設計から施工、試運転までトータルに請け負う総合プラントエンジニアリングでは、長年培ってきた鉄鋼精錬技術と粉体搬送吹込技術を駆使して、国内・海外の鉄鋼、化学、電力会社から様々な仕事をいただいております。



今後も伸ばしていく計画です。また地元北陸地方を中心とした製造業のお客様が持つプラント設備の建設工事や保全・メンテナンスを行うプラント建設・保全事業から、各種製造品の品質管理分析業務、水質・大気・土壌・振動・騒音といった環境分析・調査など幅広く請け負っています。

ダイヤモンドエンジニアリングはこれからも当社にしかない独自技術を磨き、グローバル・ニッチ・リーダーを目指し、より豊かな社会の発展に貢献し、お客様に対し社員一人一人がキラリと光る会社を目指していきます。



粉体搬送実験機

シーズ紹介

今年度、富山県立大学に着任された先生方をご紹介します。
ご相談などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

工学部・教養教育センター 講師

川上 翔太郎 KAWAKAMI Shotaro



研究分野 運動生理学、運動処方学、腎臓リハビリテーション

メッセージ 心疾患および腎疾患患者に対する運動効果、運動と腎血行動態との関係や生活習慣と慢性腎臓病（CKD）発症・進行との関係についてヒトを対象とした実験的研究を行っています。現在はさまざまな運動条件（強度、継続時間、頻度、様式）下での運動が腎臓にどのような影響を与えるかを研究しています。コラボしていただける方を探しております。



工学部・電気電子工学科 准教授

清水 直 SHIMIZU Sunao

研究分野 材料科学、ナノマテリアル、界面科学、物性物理、デバイス物理

メッセージ 新しい機能性を有するデバイスの開発を目指し、電子材料の研究を行っています。特に、超薄膜、低次元材料などのナノマテリアルの開発と物性研究、そしてそれらをベースとした電界効果型トランジスタの作製を進めています。

工学部・電気電子工学科 助教

阿久津 隼 AKUTSU Hikaru



研究分野 分散型電力管理システム・制御工学・分散最適化

メッセージ 次世代の電力システムでは、自然エネルギーを利用した発電機器、蓄電機器が多数導入されます。これら複数の機器を、単一の信号（仮想価格）をもちいて分散的に管理するシステムについて研究しています。シミュレーションによる仮想空間での検証だけでなく、実際の機器をもちいた実験もおこなっています。



工学部・生物工学科 講師

加藤 悠一 KATO Yuichi

研究分野 バイオものづくり、藻類、光合成、遺伝子工学論

メッセージ 近年、地球規模の環境問題解決と経済発展の両立を目指して『バイオものづくり』が盛んに研究されています。藻類（微細藻類・シアノバクテリア）は、太陽光をエネルギーとしてCO₂から直接有用物質を生産できる理想的な生産者です。私は遺伝子工学技術を利用して、様々な有用藻類株の創出に取り組んでいます。

工学部・生物工学科 講師

高田 啓 TAKADA Hiraku



研究分野 ゲノム微生物学・生化学・微生物遺伝学

メッセージ 生命情報科学と生化学的解析、遺伝学的解析を駆使し、細菌の抗菌薬耐性機構の解明に取り組んでいます。また、微生物バイオものづくりに向けた革新的な技術開発を目指し、持続可能な社会に貢献することを目指して研究を進めています。ご興味がありましたらぜひご相談ください。



工学部・生物工学科 助教

杉本 竜太 SUGIMOTO Ryota

研究分野 様々な環境のウイルスゲノムの探索とその進化推定

メッセージ 様々な環境由来のDNAまたはRNA配列から細菌に感染するウイルスのゲノムを探索しています。さらに発見したウイルスゲノムを解析して、未知の遺伝子を同定したり、遺伝子の塩基配列からウイルスの進化を推定したりしています。大量のウイルスゲノムを調べることで、最終的にはウイルスや細菌の起源も知りたいと思っています。

情報工学部・データサイエンス学科 准教授

松本 卓也 MATSUMOTO Takuya

研究分野 最適化・シミュレーション・機械学習・社会システム・システム論的問題解決

メッセージ 社会システム等の様々なシステムに対し、システム論的問題解決により、現状／改善策の評価や最適化を行う研究をしています。例えば、道路トンネル火災時の煙動態の物理シミュレーションと避難の検討、道路交通インフラのシミュレーションによる評価・最適化、LiDARを用いた車両センシング等を行っています。



情報工学部・データサイエンス学科 助教 **高野 諒** *TAKANO Ryo***研究分野** 進化計算・群知能・最適化・機械学習

メッセージ 進化計算や群知能と呼ばれる計算アルゴリズムは、適用範囲が広く様々な最適化問題を効率的に解くことが可能です。これらの手法と機械学習により新たなシステムの開発や既存のシステムの改良を行っています。特に現在は、時間経過などの環境変化に対する追従性向上のための研究に取り組んでいます。

情報工学部・情報システム工学科 助教 **西澤 昌宏** *NISHIZAWA Masahiro***研究分野** VR/AR、五感工学、感覚間相互作用、立体ディスプレイ、色彩工学、視覚情報処理

メッセージ リアルな感覚体験をいかにしてバーチャルに再現するかをテーマに研究しています。色や立体感、触覚といった知覚現象から質感や存在感などの高次認知まで、その対象は多岐にわたります。工学と心理学の両面からヒトの高度な知能システムを深く理解し、ときには錯覚まで活用して、様々な五感ディスプレイの実現を目指します。

情報工学部・知能ロボット工学科 准教授 **水野 斎** *MIZUNO Hitoshi***研究分野** 有機光機能材料、有機半導体デバイス、ナノ材料

メッセージ 有機ナノ結晶のサイズ制御や有機ナノ結晶を用いた塗布型有機 EL 素子に関する研究を行っています。新規改良型再沈殿法により作製した有機ナノ結晶水分散液を用いることで、省エネ・低コスト・低環境負荷な水系塗布型デバイス製造工程を可能にし、高温耐久性・高輝度・波長選択性に優れる有機デバイスが実現できます。

情報工学部・知能ロボット工学科 講師 **太田 優一** *OTA Yuichi***研究分野** 第一原理計算、計算物質科学、ワイドギャップ半導体、混晶半導体

メッセージ 近年、絶縁体と認識されていた物質が半導体として応用できることが分かってきました。このような物質群は超ワイドバンドギャップ半導体と称され、次世代のパワー半導体や紫外 LED 等への応用が期待されています。私の研究室ではこのような新しい半導体を計算機シミュレーションで予測・設計する研究をしています。

情報工学部・知能ロボット工学科 講師 **岡崎 聡** *OKAZAKI Satoshi***研究分野** 聴覚心理学、音楽知覚認知、音声情報処理

メッセージ 心理音響学の基礎研究として聴覚の時間感覚系を解明する研究を行っています。また、そのような時間感覚系が音楽演奏にどのように表出するのかについてコーパス的に分析する研究を進めています。

情報工学部・知能ロボット工学科 講師 **松本 賢太** *MATSUMOTO Kenta***研究分野** ロボティクス、スポーツ工学、福祉工学

メッセージ ヒトの巧みな動作は、スポーツのような高速かつ柔軟な動作に限らず、技能者の動作など様々な場面で見られます。これらのヒトの巧みな動作の習得を目的に、モーションキャプチャシステムなどの動作解析装置を用いて「コツ」を明らかにし、さらに聴覚・視覚・触覚などの感覚情報として提示する装置の開発に取り組んでいます。

看護学部・看護学科・基礎看護学講座 准教授 **杉森 道也** *SUGIMORI Michiya***研究分野** 細胞分化の時空間特異性と不可逆性；悪性腫瘍細胞の集団再現能力

メッセージ 個体が発生するプロセスでは、特定の領域に・適切なタイミングで・十分量の細胞集団が生み出されます；そのプロセスはみために不可逆です。一方で、悪性腫瘍は、時間と空間を乗り越えて、いつでも・どこでも多様な細胞を生み出し、集団を再現します。神経発生と悪性脳腫瘍をモデルにその境界を知りたいと考えています。

大学からのお知らせ

■「富山県立大学リエゾンサポーター交流会」のご案内

リエゾンサポーター交流会は、本学教員による研究成果発表を通じて、県立大学の研究シーズに対する知識を深めていただくとともに、発表会後には交流会を開催し、教員との交流を通して、産学連携のさらなる発展を図ります。研究協力会会員の皆様方におかれましては、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

詳細・申し込み方法については、別途ご案内しております。

- 日 時 / 令和6年11月19日(火) 14:05 ~ 18:50
- 場 所 / 富山県立大学射水キャンパス(中央棟 講義室 N205 ほか)



写真は令和5年度の様子(研究成果発表)

お問い合わせ先 富山県立大学研究協力会事務局 TEL.0766-56-0604 / FAX.0766-56-0391 E-mail: tpu-liaison@pu-toyama.ac.jp

■富山県立大学公開講座のご案内

富山県立大学では地域に密着した大学としてその教育研究の成果を広く社会に開放し、地域社会の向上に資するとともに生涯教育の一助となることを目的として、公開講座を開催しています。

今年度は、情報工学部知能ロボット工学科の教員が中心となり、下記のとおり多彩な講座を開催いたしますのでご案内します。

- テーマ / 「人間とロボット／コンピュータを繋ぐ情報技術」
- 開催日時 / 令和6年10月12日(土)・26日(土)、11月9日(土)
各日 13:30 ~ (受付開始 13:00 ~)
- 開催方法 / ・富山県立大学射水キャンパス(射水市黒河5180)
中講義室での対面開催
・オンライン配信(当日 Zoom)
・録画配信(後日 YouTube)



受講料
無料!

●講義スケジュール及び担当講師

写真は昨年の様子

日 時	時 間	講 義 項 目	講 師 等
10月12日(土)	13:30 ~ 13:40	開講式	地域連携センター 所 長 堀川 教世
	13:40 ~ 14:30	聴覚情報処理の仕組みと応用	情報工学部 知能ロボット工学科 講 師 森川 大輔
	14:35 ~ 15:25	音声生成や立体音のメカニズムとシミュレーション	情報工学部 知能ロボット工学科 教 授 モクタリ パーハム
	15:30 ~ 16:20	聴覚・音楽・音声と時間の知覚	情報工学部 知能ロボット工学科 講 師 岡崎 聡
10月26日(土)	13:30 ~ 14:20	ヒト・道具の解析と運動教示デバイスの開発	情報工学部 知能ロボット工学科 講 師 松本 賢太
	14:30 ~ 15:20	高齢者の見守りのための画像処理技術	情報工学部 知能ロボット工学科 講 師 孔 祥博
	15:30 ~ 16:20	マイクロ領域の特性を利用したマイクロ五感センサ	情報工学部 知能ロボット工学科 准教授 野田堅太郎
11月9日(土)	13:30 ~ 14:50	ブレイン・マシン・インタフェースの開発	情報工学部 知能ロボット工学科 准教授 森重 健一
	15:00 ~ 16:20	パターン情報処理とユーザインタフェースへの応用	情報工学部 知能ロボット工学科 講 師 中井 満
	16:20 ~	閉講式	地域連携センター 所 長 堀川 教世

《申込締切: 令和6年10月4日(金)》

お申込み 富山県立大学地域連携センター TEL.0766-56-0604 / FAX.0766-56-0391 E-mail: shogaigakushu@pu-toyama.ac.jp